

2019/7/30

「市民ネット 21 柏村忠志」視察報告

- 視察日程 (A) 7月3日 大仙市 奥羽山荘 「秋田太田奥羽グランド・ゴルフ場」
(B) 7月4日 八戸市役所 「議会タブレット導入」
(C) 7月5日 青森市「放課後児童会」

視察報告書

(A) 大仙市（人口約 82 千人）「秋田太田奥羽グランド・ゴルフ」

《視察目的》

土浦市をはじめ、県内で、「グランド・ゴルフ」の愛好者は広がっている。

土浦市において、グランド・ゴルフの環境整備は必要不可欠である。

「秋田太田奥羽グランド・ゴルフ」は 8.7 ヘクタールあり、日本一の広さを誇り、起伏の富んだコースが好評を得ている。

土浦市のグランド・ゴルフの環境を整備するうえで、学ぶことが多い。

《内容》同グランド・ゴルフ場は、「東北ブロック大会」（平成元年～平成 5 年）、「第 11 回全国グランド・ゴルフ交歓大会」（平成 10 年）、「第 9 回レディース交歓大会」（平成 29 年）などを開催するなど、国内でも注目されている。

ゴルフ場を含む「太田ふれあいの里整備事業」は、平成 5～7 年度までの 3 カ年事業費は 7 億 21 万円。その内訳は地域総合事業費 5 億 2,500 万円、一般財源 1 億 7,521 万円。内、グランド・ゴルフ場の整備費用は 3 億 9,719 万円となる。

《質疑・応答》（グランド・ゴルフ場の活用状況について）利用者の高齢化にともない減少傾向にある。平成 26 年度の利用者数 24,072 人。30 年度 18,372 人。

（収入が増えたのは）収入は値上げに伴うものだ。平成 26 年度 8,403,665 円、平成 30 年度 8,941,881 円。

（今後の課題として）韓国なども含め、利用者の拡大を図ることだ。

《感想》土浦市内にグランド・ゴルフ場はいくつかあるが、当面、霞ヶ浦総合運動公園の活用である。隣接する休耕水田の借地により、グランド・ゴルフ場として広げていくことが考えられる。

(B) 八戸市（人口約 228 千人）「議会タブレット導入について」

《視察目的》土浦市議会は、「議会タブレット導入」についての動きが、数年前からあり、具体化するための課題などを探るため、八戸市市議会を訪れた。

《内容》同議会の「議会タブレット」の導入の研究・調査は、平成 25 年 7 月 1 日から始まり、平成 27 年 9 月 1 日、「タブレット端末運用開始（会議システム）」に至り、平成 31 年 3 月定例会から、ペーパーレス化対象の会議を拡大している。初年度導入費用は約 239 万円（議員 32 台、事務局 3 台）である。

《質疑・応答》導入の効果（メリット、デメリット）について以下の説明があっ

た。(メリットとして) ①紙使用量の削減(議員への会議録配布を廃止したことによる削減枚数は約 59,000 枚(平成 27 年 9 月~31 年 3 月まで)、②本会議及び予算・決算特別委員会会議録冊子の議員への配布廃止、③経費節減・事務の改善(これまでの FAX や電話で行っていた連絡や資料の配布の送付を議員の ipad へメールで送信でき、また、会議資料の準備・配布も効率化される) ④情報伝達の迅速化などである。(デメリットとして) 会議資料に速やかにメモすることが、紙資料と比較して容易でなく、議会事務局の労力は厳しいことが挙げられた。

応答の中で、当初は議員から事務局に初歩的な電話が多くあったが、現在、ほとんどない。また、一台当たりの導入経費は約 2,702 円となるが、全体の「費用対効果」の検証は、今後の課題である。事務局の労力は厳しく、増員は避けられないなどの意見もあった。

《感想》以上のような先進地の課題を学び・検証し、土浦市議会の「タブレット導入」をスムーズに運びたいと思っている。

(C) 青森市(人口約 282 千人) 「放課後児童会」

《視察目的》土浦をはじめ周辺の都市で、保護者の共働き家庭が増えており、大きな課題となっている。放課後家庭への対応に先進的な政策を打ちだしている青森市を訪れた。

《内容》青森市は、放課後家庭にいない子どもたち(小学校 1~6 年生)を対象に、放課後の安全・安心な居場所を提供し、生活や遊びの場を与えることを目的とする「放課後子ども教室」「放課後児童会」「児童館」^等、各地域にできている。

青森市は、対象児童小学 1 年~6 年生。青森地区で保護者が希望するすべての小学校区へ開設 53 ヶ所 3,169 人。これは、市内の全児童数 12,978 人の約 24.4%となる。開設時間は、平日 1300:18:30、土曜日 8:00~18:00、学校休業日 8:00~18:30。

児童会費負担金 1 人目月額 3,200 円、2 人目月額 1,600 円、3 人目月額 0 円、生活保護受給世帯等減免制度ある。

放課後児童支援員(282 人・常勤 214 人 代用 68 人) 時給単価 910 円。

支援者資格(国の基準)は、保育士の資格を有する者、社会福祉士資格を有する者、高校卒業者等で 2 年以上児童福祉事業に従事した者、幼稚園、小・中・高校等の教諭免許を有する者。

指導員は国の基準で、児童 40 人に対し支援員を二人以上配置できる。

《質疑・応答》「指導員同士の連携がうまくいっているか」についての質疑に対し、「人間関係は複雑で対応策に苦慮している」とのこと。また、保護者と指導員との関係も複雑で、トラブルが起きないように細心の注意を払っている、とのこと。

《感想》このような事例は、土浦市においても例外ではなく、対応策など学ぶことが多くあった。なお、今後の視察として、類似自治体の視察が望まれる。